令和３年度　学校評価について

今年度の本校における学校教育活動及び重点目標に対する取組状況について、生徒・保護者及び教職員による評価を実施しましたので、その結果を報告します。

Ⅰ　令和３年度学校教育目標・本年度の目標等

校　　訓　自助　奉仕　創造

学校教育目標

めざす学校像

地域と連携・協働する教育活動の推進により、郷土への愛着と誇りを育み、未来社会に対応できる実践力を培う学校

育てたい生徒像

・主体性をもって多様な人々と協働して学び、地域の活性化や課題解決に貢献する人材（自助）
・郷土への愛着と誇りをもち、地域や人とのつながりを大切にする心豊かな人材（奉仕）
・夢や希望をもって未来を切り拓く、確かな学力を備えた人材（創造）

スクールスローガン

One for All ; All for One

本年度の目標

重点目標

・生徒一人ひとりの学力の向上と進路実現をめざす教育の推進
・心身ともに健やかで、主体的に行動できる生徒を育成する教育の推進
・豊かな人間性と社会貢献への意欲・態度を育成する教育の推進

チャレンジ目標

品　行　方　正

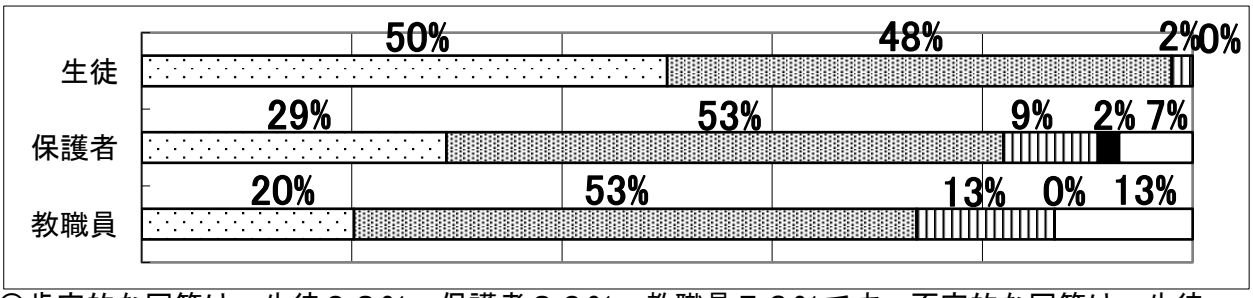
重点項目

・組織的実践……組織としての協働による教育活動の充実
・計画的実践……生徒の着実な成長のための３年間を見通した教育活動
・創造的実践……本校の特色を生かした特色ある教育活動の創造
・不断の改善意識……学校評価の活用等を生かし、業務改善につながる取組の工夫
・研修の充実……教育に関する諸課題についての研修及び研究授業の充実
・安心・安全の確保……安心・安全な学校環境の維持・改善
・外部連携の強化……コミュニティ･スクールの仕組みを生かした、保護者・同窓会・地域等との連携と多様な教育力の活用
・情報発信の充実……さまざまな方法を活用した積極的な情報発信

Ⅱ　学校教育活動に関するアンケートの結果

１２月に、生徒８項目、保護者・教職員９項目で実施した下関北高校の現状に関するアンケートについて、結果をグラフ化するとともに、生徒・保護者の記述による意見を要約して記載しています。また、結果の分析や今年度の取組の補足、今後の課題や取組予定についても整理しています。

１　本校の学習指導に対する満足度は（生徒・保護者）
本校の学習指導（教職員）

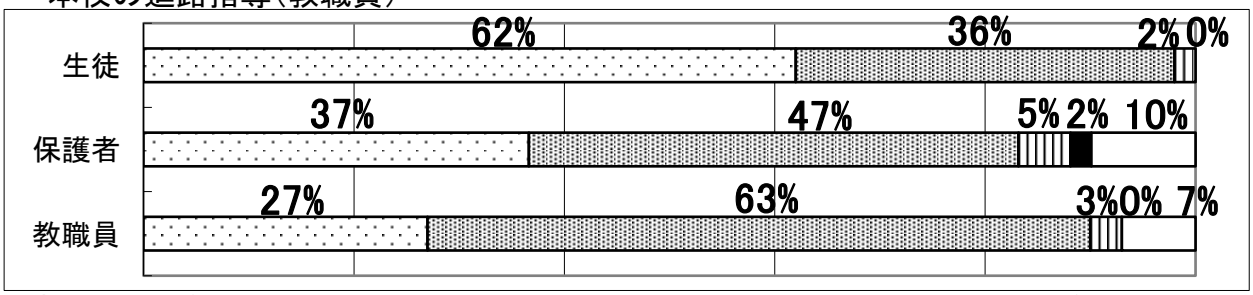


◎肯定的な回答は、生徒９８％、保護者８２％、教職員７３％です。否定的な回答は、生徒２％、保護者１１％、教職員１３％です。

○生徒からは、少人数・習熟度別授業で分かりやすい、朝学で学習習慣がつくのがよい、先生に質問しやすく分からないところを教えてくれる、という意見が多数ありました。保護者からも、少人数指導や習熟度別指導、朝学や課外の取組について肯定的な意見を多くいただきました。一方、生徒や保護者からは、わかりにくい授業がある、宿題の量をもう少し増やしてほしい、という意見もありました。

■本校の学習指導の特徴である、習熟度別授業や個別指導などのきめ細かな指導体制、また、朝学等による基礎学力の定着、課外による進路実現に向けた実力養成に対して、生徒・保護者とも高い評価をいただきました。
■今後も、年２回実施している授業評価アンケートや模擬試験の結果等を踏まえ、ＩＣＴ機器なども活用した研究授業や授業研修を積極的に実施して、授業改善を進めていきます。
■また、２年生からコース制となり、大学進学を目指すＡコースと、短大・専門学校への進学や就職を目指すＢコースに分かれて授業を行っていることから、各コースの生徒のニーズに対応した授業の展開をさらに工夫していきます。

２　本校の進路指導に対する満足度は（生徒・保護者）
本校の進路指導（教職員）

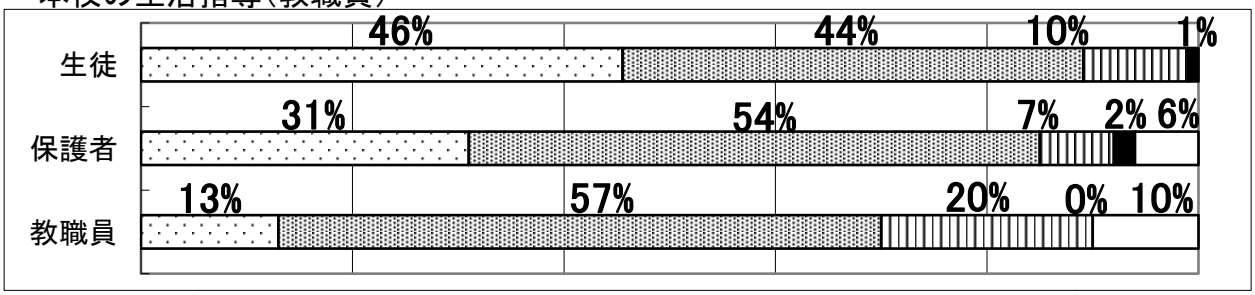


◎肯定的な回答は、生徒９８％、保護者８４％、教職員９０％です。否定的な回答は、生徒２％、保護者７％、教職員３％です。

○生徒・保護者とも、大学訪問、各種ガイダンス、個人面談や小論文指導に対する肯定的な意見が多く寄せられました。また、３年生からは、個別の面接や小論文、教科指導に対する感謝の言葉が寄せられました。一方、保護者からは、進路についてさらに幅広く情報を提供してほしい、といった要望もありました。

■本校では、３年間を通じて、様々な体験的な進路学習（大学訪問、各種ガイダンス、面接・小論文指導等）を実施するとともに、進路情報の提供や個別ガイダンスを通じて、生徒の進路意識の早期からの高揚に努めています。
■また、入試の際に重要になってくる面接や小論文の指導を、１年次から系統的に実施するとともに、３年生の進路指導については、全ての教員が関わって全校体制で実施しています。
■一方、生徒の進路希望が多様化していることから、大学等の一般入試に対応できる学力の育成や就職希望者への指導を、一層充実させていく必要があると考えています。

３　本校の生活指導に対する満足度は（生徒・保護者）
　本校の生活指導（教職員）

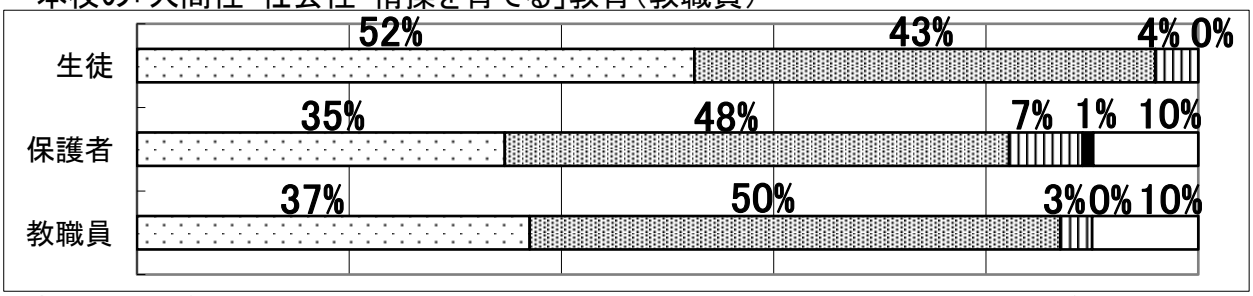


◎肯定的な回答は、生徒９０％、保護者８５％、教職員７０％です。否定的な回答は、生徒１１％、保護者９％、教職員２０％です。

○生徒からは、服装・頭髪指導が実施され、ルール・マナーが守られていることに対して肯定的な意見が多く寄せられる一方で、きまりやマナーを守れない人がいるという指摘もありました。保護者からも、服装の乱れやマナーに対する指導の要望がありました。

■本校では、学校安全アンケートや定期的に開催する教育相談委員会、担任と生徒との個人面談等を通じて、生徒の生活状況の細やかな把握と、個に応じた生徒指導に努めています。
■生徒の自主性を重んじてルールやマナーについて指導していますが、教職員からもルールやマナーの悪化に対する指摘があります。２学期の生徒総会を受けて、チャレンジ目標である「品行方正」に向け、３学期から生徒会執行部が中心となってルールやマナーを守る取組を進めています。
■「挨拶ができる、礼儀正しい」「校則を守る」「当たり前のことを当たり前にできる」という良き伝統を引き継いでいけるよう、今後も努力していきたいと思います。

４　本校の「人間性・社会性・情操を育てる」教育に対する満足度は（生徒・保護者）
　本校の「人間性・社会性・情操を育てる」教育（教職員）

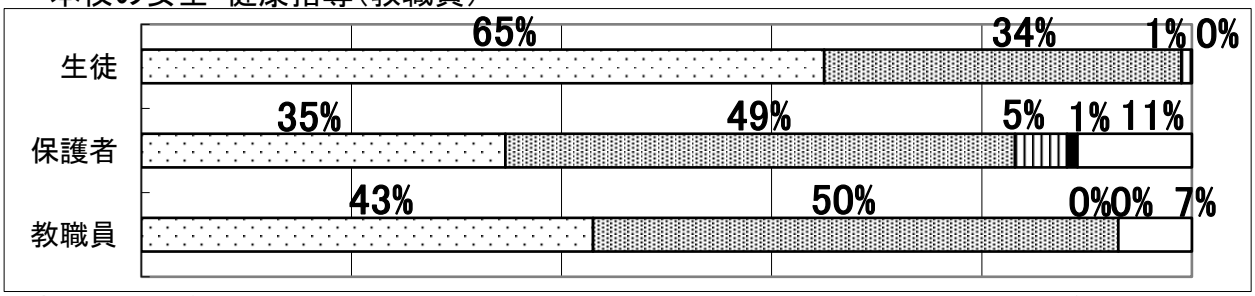


◎肯定的な回答は、生徒９５％、保護者８３％、教職員８７％です。否定的な回答は、生徒４％、保護者８％、教職員３％です。

○生徒・保護者とも、部活動や本校が積極的に取り組んでいる地域と連携した教育活動やボランティア活動、講演会等を高く評価する意見が多くありました。一方、大学進学を目指すＡコースでは地域と連携した活動が少ないという意見がありました。

■地域と連携・協働した教育活動では、文化部を中心とした活動に加え、学校設定科目「地域探究」においても、地域の人材や施設と連携して、地域課題の理解とその解決策を考える授業を展開しています。
■今後も、コミュニティ・スクールの仕組みを活用して、生徒会が中心となった学校全体としての取組など、地域と連携・協働した教育活動の一層の充実を図り、「地域から愛され、地域から信頼される学校づくり」を進めていきたいと考えています。
■部活動については、今年度も、適切な休養日や活動時間を規定した「部活動運営方針」を策定しました。各部の運営方針や活動計画について保護者への周知を徹底するとともに、安全管理に努め、信頼性の向上を図っていきたいと思います。

５ 本校の安全･健康指導に対する満足度は（生徒･保護者）
本校の安全･健康指導（教職員）

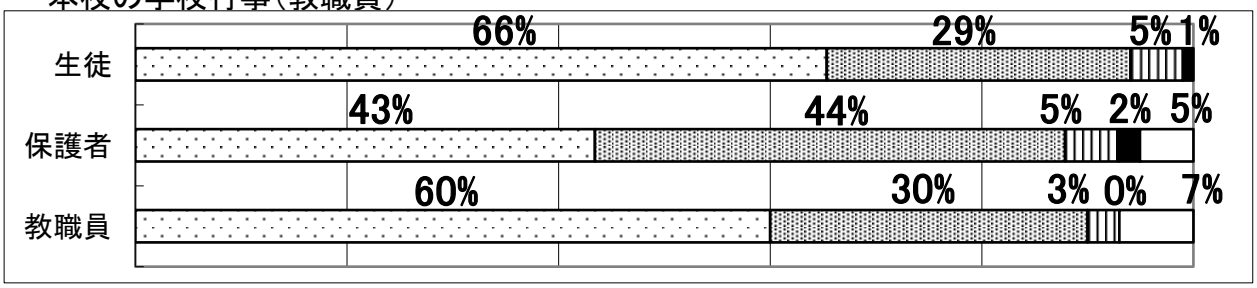


◎肯定的な回答は、生徒９９％、保護者８４％、教職員９３％です。否定的な回答は、生徒１％、保護者６％、教職員０％です。

○生徒・保護者とも、交通安全教室や避難訓練、情報モラル研修会、薬物乱用防止に関する講演会等が危機意識を高める上で有効だという意見が多数ありました。また、生徒からは、保健だよりなどで情報提供しているのがよいという意見がありました。

■本年度の避難訓練では、火災を想定した訓練を実施しました。また、不審者が学校に侵入した際に備え、本校独自のサインについて、全校生徒、教職員に徹底しています。今後は、実際の事故・事件を想定しながら、事前予告なしの訓練を実施したいと考えています。
■薬物乱用防止教室では、講演に先立ち、生徒・教職員による寸劇を披露し、薬物の恐ろしさがより印象や記憶に残る機会とすることができました。
■健康指導では、「各種検査における治療率の向上」を重点目標として、各クラスや部活動で生徒に呼びかけ、保護者会では御協力をお願いした結果、治療率が大きく向上しています。

６ 本校の学校行事に対する満足度は（生徒･保護者）
本校の学校行事（教職員）

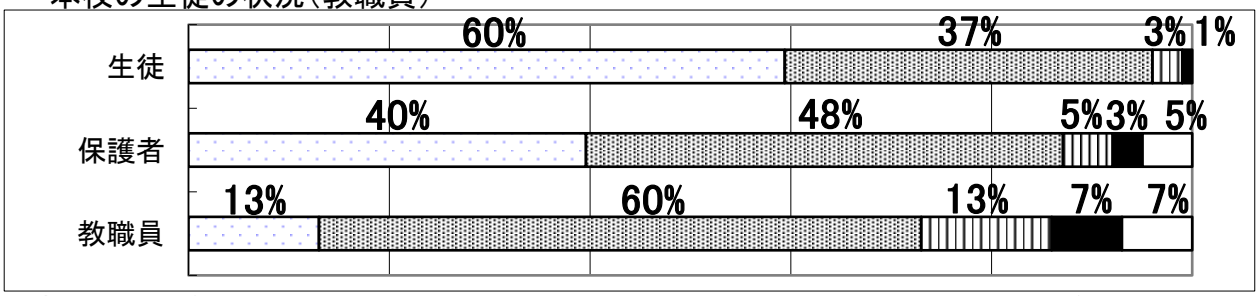


◎肯定的な回答は、生徒９５％、保護者８７％、教職員９０％です。否定的な回答は、生徒６％、保護者７％、教職員３％です。

○生徒・保護者からは、コロナで大変な中、学校全体で文化祭や体育祭を実施できてよかった、行事を通じて他学年で交流できるのがよい、とても楽しかった、という意見が多くありました。一方、今年度、行事が縮小されたことを残念がる意見や、文化祭・体育祭・クラスマッチの充実を求める意見が、生徒・保護者双方からありました。

■本年度は、新型コロナウイルス感染症への感染防止対策に万全を期して、内容を精選するなどして文化祭や体育祭などの学校行事を実施しました。来年度に向けて、感染症対策を徹底しながら、保護者に御来校いただく機会を増やせるよう検討していきたいと考えています。
■本校は少人数であるため、学校行事において多くの生徒に活躍の場がある反面、内容を一層充実させていくための工夫が必要です。今後も、より充実した行事となるよう、生徒会を中心に工夫・改善を進めていきたいと思います。

7　本校での学校生活に対する満足度は（生徒・保護者）
　本校の生徒の状況（教職員）

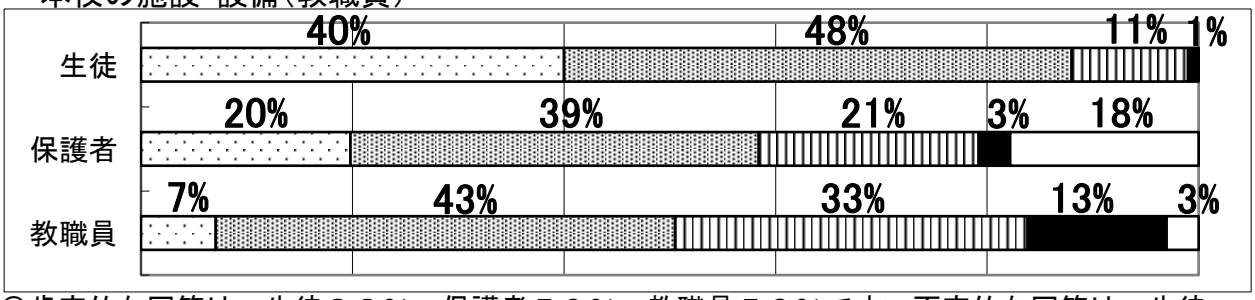


◎肯定的な回答は、生徒９７％、保護者８８％、教職員７３％です。否定的な回答は、生徒４％、保護者８％、教職員２０％です。

○生徒からは、毎日が楽しい、生徒・保護者からは、友人や先輩・後輩との関係が良好である、先生と生徒の距離が近く相談しやすい、という意見が多くありました。部活動については、充実しているという意見が多い反面、改善を求める意見もありました。

■２学期にスクールカウンセラーによる１年生全員との個人面談を実施し、学校生活の適応状況を改めて把握し、必要に応じて適切な対応をとりました。
■また、各学年とも、年２回の面談週間以外にも担任と生徒が個人面談をする機会を設け、生徒理解に努めました。
■この他、各学年担当教員間での毎朝の情報共有や、教育相談委員会の定期的な開催など、生徒の状況把握と対応に努めていますが、生徒へのきめ細かな指導を行うためには、御家庭との連携が不可欠です。今後とも、些細なことでも構いませんので、御家庭でお気づきの点があれば、担任に御連絡いただくよう、よろしくお願いいたします。

8　本校の施設・設備に対する満足度は（生徒・保護者）
　本校の施設・設備（教職員）

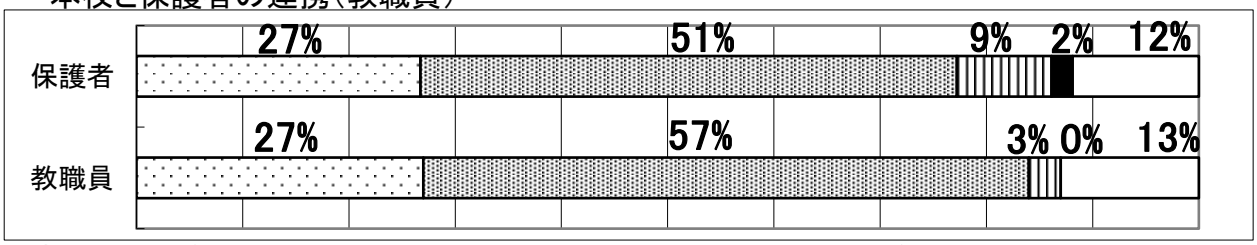


◎肯定的な回答は、生徒８８％、保護者５９％、教職員５０％です。否定的な回答は、生徒１２％、保護者２４％、教職員４６％です。

○生徒・保護者からは、施設は古いが普段の生活で困ることはない、トイレなどが工事できれいになったという意見をいただきました。一方、生徒・保護者とも、老朽化により窓やドア開閉がしにくい、床のタイルが割れている、部室の環境やウェイトトレーニング場を改善してほしいなどの意見がありました。

■今年度は、調理教室空調設置、屋外消火栓配管設備改修、屋外トイレ屋根改修などの施設・設備の改善を行いました。
■御意見をいただきましたように、本校の施設・設備は老朽化のため課題もありますが、生徒が快適な環境のなかで学校生活が送れるよう、可能な限り迅速な修理保全を行っています。
■今後も、必要に応じて県に予算を請求するとともに保守点検を行い営繕に努めていきます。

９ 本校と保護者の連携に対する満足度は（保護者）
本校と保護者の連携（教職員）



◎肯定的な回答は、保護者７８％、教職員８４％です。否定的な回答は、保護者１１％、教職員３％です。

○保護者からは、担任からの細やかな連絡や、ホームページの更新等による情報発信について多くの肯定的な評価をいただきました。一方、情報発信の充実や緊急メールの改善を求める意見もありました。

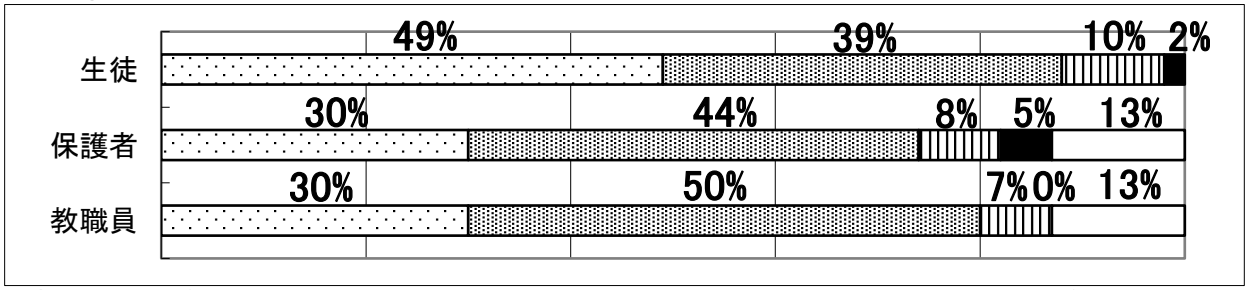
■本校では、学校や生徒の様子を保護者や地域の方に広く知っていただけるよう、ホームページの更新や学校通信を通じた、積極的な情報発信に努めています。
■また、年２回の保護者面談で、担任と保護者が生徒の状況を共有できるよう努めています。
■一昨年度から、各御家庭で大雨や暴風等の「警報」や、公共交通機関が運転を見合わせ等に関する情報を御確認いただき、「自宅待機」の御判断をいただくこととしています。現在のところ大きな支障はないと考えていますが、学校からの連絡がほしいとの意見もあります。よりよい情報提供の方法について、引き続き研究していきたいと思います。

Ⅲ　重点目標に対する取組状況に関するアンケートの結果

本年度の重点目標に対する取組状況について、生徒・保護者・教職員に７項目のアンケートを実施しましたので、その結果をグラフで示しています。なお、生徒は自分自身の状況について、保護者はお子様の状況について、教職員は生徒の状況について回答しています。

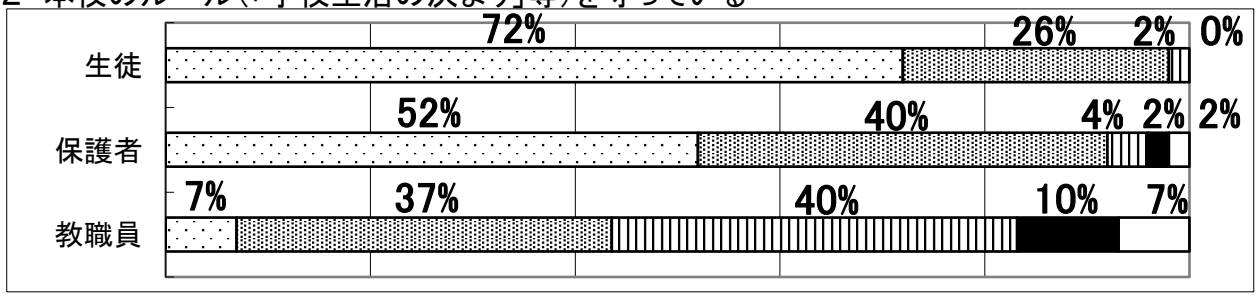
このアンケート結果については、２月に開催予定の第３回学校運営協議会に示し、学校運営に関する学校関係者評価を行っていただく予定です。

１　他の高校では体験できない特色ある教育活動（授業・部活動・ボランティアなど）に取り組めている



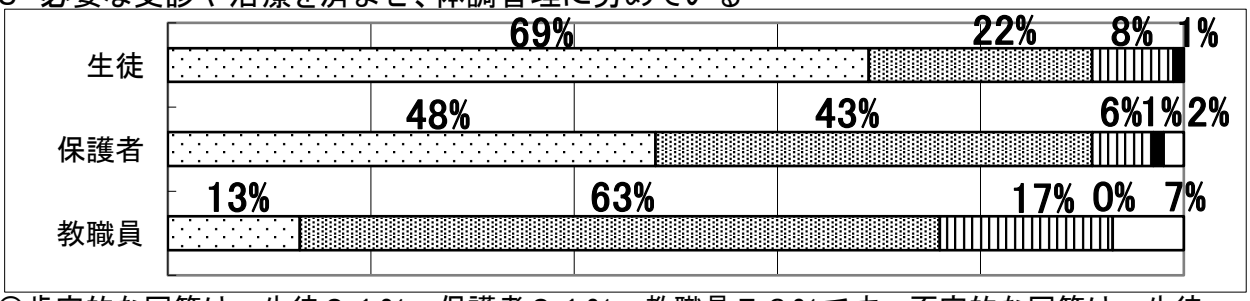
◎肯定的な回答は、生徒８８％、保護者７４％、教職員８０％です。否定的な回答は、生徒１２％、保護者１３％、教職員７％です。

２　本校のルール（「学校生活の決まり」等）を守っている



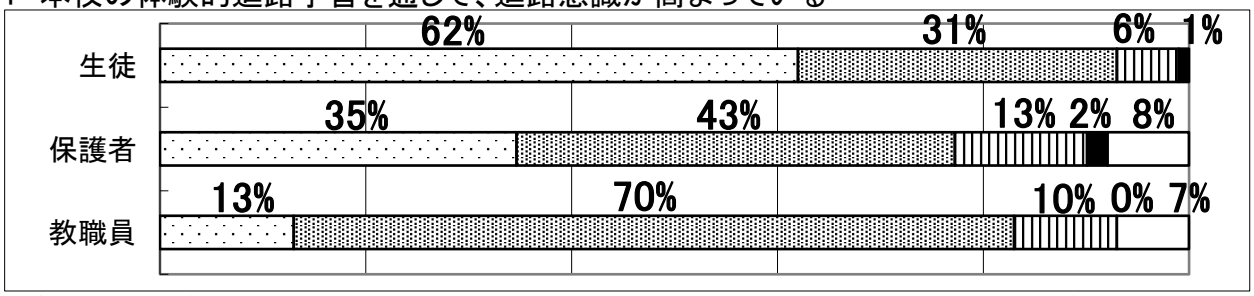
◎肯定的な回答は、生徒９８％、保護者９２％、教職員４４％です。否定的な回答は、生徒２％、保護者６％、教職員５０％です。

３　必要な受診や治療を済ませ、体調管理に努めている



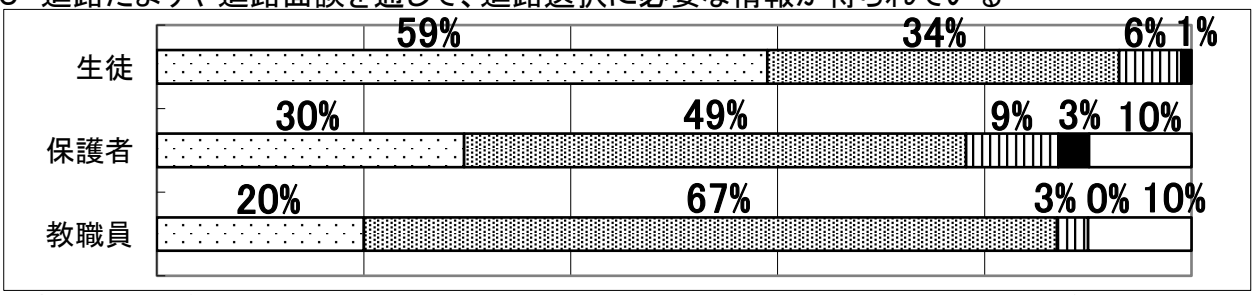
◎肯定的な回答は、生徒９１％、保護者９１％、教職員７６％です。否定的な回答は、生徒９％、保護者７％、教職員１７％です。

４　本校の体験的進路学習を通じて、進路意識が高まっている



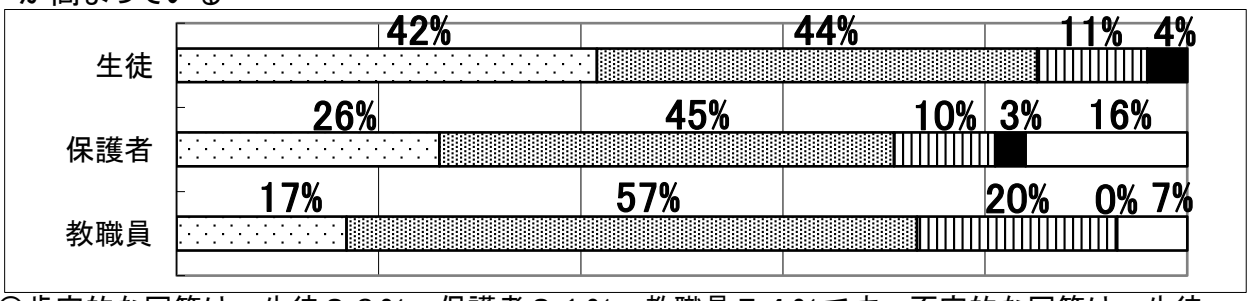
◎肯定的な回答は、生徒９３％、保護者７８％、教職員８３％です。否定的な回答は、生徒７％、保護者１５％、教職員１０％です。

５　進路だよりや進路面談を通じて、進路選択に必要な情報が得られている



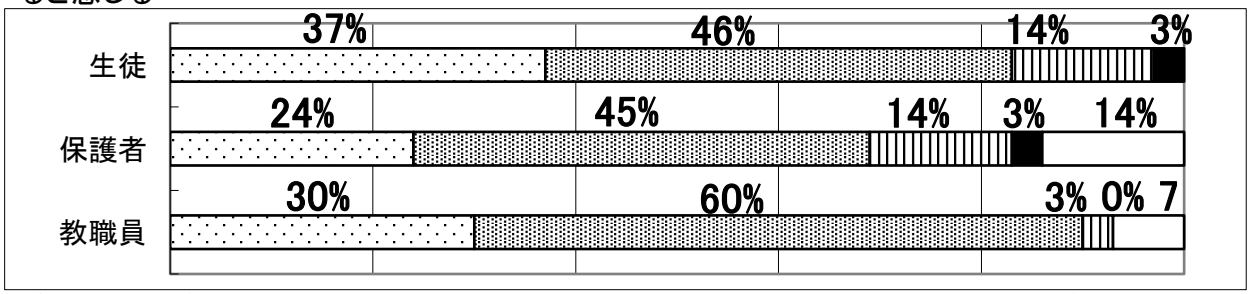
◎肯定的な回答は、生徒９３％、保護者７９％、教職員８７％です。否定的な回答は、生徒７％、保護者１２％、教職員３％です。

６　本校の地域と連携・協働した取組を通して、地域やそこに住んでいる人々への愛着や誇りが高まっている



◎肯定的な回答は、生徒８６％、保護者８１％、教職員７４％です。否定的な回答は、生徒１５％、保護者１３％、教職員２０％です。

７　本校の魅力が、学校ホームページや学校通信、マスコミ等を通じて積極的に発信されていると感じる



◎肯定的な回答は、生徒８３％、保護者６９％、教職員９０％です。否定的な回答は、生徒１７％、保護者１７％、教職員３％です。